テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

根室管内　羅臼町立春松小学校

■本実践のポイント（概要）

・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、第６学年の総合的な学習の時間において、アイヌの人たちの歴史や文化について、調べる活動を位置付けるとともに、修学旅行において、阿寒アイヌシアターイコロを訪れ、施設見学や体験的な活動を通じて、アイヌの人たちの歴史・文化等と自分たちの住む地域を比較するなどしながら、探究的に学習しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1)　課題の設定

前年度の学習を踏まえ「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、書籍及びインターネット等による調べ学習を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等に対する興味・関心を喚起し、「アイヌの人たちの歴史・文化等について調べたことを、プレゼンテーション資料にまとめる」という探究課題を設定しました。

【阿寒アイヌシアターイコロ館内見学の様子】

(2)　情報の収集

１人１台端末やパンフレット「アイヌ民族：歴史と現在-未来を共に生きるために-」（公益財団法人アイヌ民族文化財団発行）等を活用し、アイヌの人たちの歴史、文化、生活、自然との関わり等について情報を収集するとともに、体験的な学習を通してアイヌの人たちがアイヌ文化を大切に受け継いできたことについて学びました。

【阿寒湖アイヌ伝統 木工木彫り体験】

(3)　整理・分析

収集した資料の整理・分析を行い、「自然と一体となって、生きるための工夫や文化、言葉が根付いたこと」や「自然と神々がアイヌの人たちの生活に位置付くこと」、「アイヌの人たちの歴史が今の北海道につながっていること」等を学びました。

(4)　まとめ・表現

学習の成果として、写真等を用いてスライドやパワーポイントにまとめ、学んだことを下級生に向けて発表しました。発表する活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等やふるさとについて理解を深めました。

【下級生に向けて発表する様子】

②児童の感想等

・アイヌの人たちは自然の恵みを大切にしていることが分かりました。
・彫刻を実際に体験して、彫刻の細かさを実感することができました。
・服の模様がきれいでした。個性的な色が多く使われていて驚きました。
・アイヌの人たちが大切にしていた歴史や文化が、今の私たちの暮らしにもつながっていることが分かりました。

■取組の成果（○）と課題（●）

○　探究的な学びのプロセスに体験活動を位置付けたことにより、アンケート調査では、「北海道や自分たちの住んでいる地域に愛着や誇りをもっている」と回答した児童の割合が76％から85％に増加するなど、北海道への愛着や誇りを高めることができました。

●　今年度の取組を次年度以降も実施し、児童が主体的に学び、ふるさとに対する愛情や誇りを育むために、自校のふるさと教育の年間指導計画を教科等横断的な視点で見直していく必要があります。